

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2014
August

No. 149

8



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組めます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組めます。

事業のうごき 8

営農総合支援センター

- 豪雪被害に係る野菜の生産支援
- J A 営農経済渉外活動の導入・実践にともなう総合的な支援
- 担い手支援のための取り組み
- 食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良 E T 卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにやく推進セット夏期特別推進
推進目標 25,000ケース
(平成26年7月1日～8月31日)
- こんにやく荒粉・精粉販売推進 (入札の実施)
- こんにやく生玉予約取扱推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味なら販売 (周年)
- 共計枝豆販売 (8月末日迄)
- 共計にがうり販売 (9月末日迄)
- 共計オクラ販売 (9月末日迄)
- 共計みょうが販売 (9月末日迄)

販売促進課

- 夏秋野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 秋用出荷資材予約・当用推進
- 低コスト段ボール推進
(AK段ボール・新形状段ボール等)
- ハウス更新資材推進
(農業用ビニール・農ポリ・マルチ等)
- 秋まき用種子推進 (ほうれん草・ねぎ・きゅうり他)
- 種馬铃薯予約注文取りまとめ (8月中)

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
- ☆花木流通センター
8月9日(土)～15日(金) ※火曜日営業
お盆セール
8月29日(金)～9月1日(月)
秋の園芸準備フェア
- ☆愛菜館
8月8日(金)～15日(金) ※火曜日営業
お盆セール
8月8日(金)、18日(月)、28日(木)
8の日 お米特売
- 造園工事推進

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 麦肥料推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- 麦種子消毒剤及び除草剤推進

農業機械課

- 丸山サンクスキャンペーン (周年)

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 生花利用拡大運動推進 (周年)
- 高崎ハムお中元ギフト・関連商品推進 (6月～8月)
- エコーペットボトル茶 (周年)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

ガス課

- 平成26年度ガス器具特別推進
- ふれあい訪問活動推進
- 大型給湯器特別推進
- L P ガス系統未利用者切替促進キャンペーン



群馬県JA繁殖和牛部連絡協議会 第29回通常総会
群馬県JA肉牛肥育部連絡協議会 通常総会
(7.4 JAビル)

■ 経営安定へ向けて協議

7月4日(金)、当県本部が事務局を務め、群馬県産牛肉の品質向上と消費拡大及び肉牛経営の安定化を図ることを目的とした群馬県JA繁殖和牛部連絡協議会及び群馬県JA肉牛肥育部連絡協議会が通常総会を開催しました。両協議会ともに、平成25年度事業報告並びに平成26年度事業計画及び予算案について上程し、議案は全て原案どおり可決承認されました。

■ 住まいの悩みをプロに相談

7月5日(土)・6日(日)、当県本部は住友不動産(株)と共催し、「住まいの大リフォーム博」を開催しました。会場内では、県内の実例写真パネルや住宅設備機器の展示、建築士による無料リフォーム相談、無料耐震診断相談等が行われました。来場者は、キッチンやユニットバス、断熱サッシや内装建材等の実物に触れ、担当者の説明を熱心に聞いていました。また、6日(日)には風水セミナーも開催され、多くの人で賑わいました。



住まいの大リフォーム博
(7.5・6 JAビル)



手作り刺身こんにやく講習会
(7.6 花木流通センター)

■ 手軽で美味しい！手作りの味

7月6日(日)、当県本部が事務局を務める群馬県蒟蒻生産協会は「手作り刺身こんにやく講習会」を開催し、約30名が参加しました。この講習会は、当県の特産品であるこんにやくの作り方と味をPRし、認知度を高めることを目的に毎年行われています。会場では、こんにやくの精粉からビニール袋を使用し手を汚さずに作る方法を紹介。参加者は、青のり・一味唐辛子・胡麻を入れた3種類の刺身こんにやく作りを体験しました。



平成26年度 第1回TAC活動研修会（初級向け）
（7.7 JAぐんま研修センター）

■ 担い手対応のスキルアップを目指す

7月7日(月)、営農総合支援センターは「平成26年度 第1回TAC活動研修会（初級向け）」を開催し、7JA13名が参加しました。この研修会は、TAC活動の基本である対人関係構築スキルについて学ぶことで、担い手対応を円滑に進めることを目的としています。当日は、ウエルスコーディネーターの渡辺氏を講師に迎え、グループ討議等を交えた「コミュニケーション能力アップ講座」が行われました。

■ 出荷最盛期に向け意見交換

7月8日(火)、本県の特産である「孺恋高原キャベツ」の本格的な出荷を迎えるにあたり、産地のPRと一層の販売強化を図るべく、JA孺恋村の松本組合長を始めとする関係者が大澤県知事を訪問しました。松本組合長は、「周囲の協力があるからこそ産地はやっていける。」と話し、大澤県知事にキャベツを贈呈しました。その後、意見交換会が行われ、大澤県知事は、「農業の更なる活性化に向けて支援していきたい。」と激励しました。



JA孺恋村 県知事表敬訪問
（7.8 県庁）

■ 雪害復興支援に感謝

7月9日(水)、2月に当県で発生した雪害の復興を支援するため、コープネット事業連合会の役職員が来会し、「雪害へのカンパ義援金贈呈式」が行われました。式典では、コープみらいの佐藤副理事長とコープぐんまの梅澤理事長が、組合員から寄せられた義援金の目録を大澤会長に贈呈しました。大澤会長はJAグループ群馬を代表し、「一日でも早い復興再建に努力し、安全・安心な農畜産物を計画的・継続的に届けていきたい。」と感謝の意を述べました。



コープネット事業連合 雪害へのカンパ義援金贈呈式
（7.9 JAビル）



とうもろこし収穫体験
(7.22 花木流通センター 収穫体験農園)



群馬県麦民間流通地方連絡協議会 (小麦・大麦部会合同)
(7.25 前橋市内)

■ 収穫の喜びを感じよう

7月22日(火)、花木流通センターは食育教室の一環として、地域の保育園児を対象とした「とうもろこし収穫体験」を開催しました。園児たちは、講師である生産者からとうもろこしのでき方や収穫の仕方を教えてもらい、友達と協力し合い収穫を楽しみました。花木流通センターではこのようなイベントを定期的で開催しており、11月には、白菜・ブロッコリー・キャベツの収穫体験を予定しています。

■ 高品質・安定生産に向けて協議

7月25日(金)、県産麦の生産振興と円滑な流通を図ることを目的とした「群馬県麦民間流通地方連絡協議会」が開催され、生産者団体や実需者、行政関係者等約60名が参加しました。当日は、作柄と年次産の技術対策や放射性物質安全検査方針、品質評価、生産目標等について協議が行われました。また、生産者と実需者、それぞれの立場から様々な意見が述べられ、需要に即した麦生産のための意見交換が行われました。

最高の一台を見つけよう!!!アグリマシフェア2014

7月19・20日 総合センター内特設会場

今年も「魅力とやりがいのある群馬の農業生産振興を目指して」をテーマに、県内JA・JA全農ぐんま主催、群馬県系統農機メーカー連絡協議会後援の「アグリマシフェア2014(第38回農業機械大展示即売会)」が盛大に開催されました。一日目に行われた開会式では、当県本部の須藤副本部長の挨拶及び関係団体・各社の代表者によるテープカットが行われ、開催を祝うと共に成功を祈

願しました。

会場内には最新の農業機械や生産資材等が勢揃いし、各メーカーのブースでは、それぞれに趣向を凝らした展示やデモンストレーションが行われました。担当者の説明を熱心に聞く来場者も多く、実際に試乗し操作確認を行うなど最新技術に興味津々の様子。自動車展示会も同時開催され、2日間で5,080人の来場者を迎えました。



▲ 開会式でのテープカット



▲ 会場の様子 ▲



こだわりのトマトジュース 9月より販売開始!

9月1日(月)から「群馬県産オリジナルトマトジュース」の販売を開始いたします。原料には、日本デルモンテ株が独自に開発した品種「デリシャスレッド」を使用した、すっきりとした飲み口が特徴のストレートのトマトジュースです。「濃縮還元品とは異なる、フレッシュな旬のトマトの味をぜひジュースで楽しんで欲しい。」と担当者は話します。毎年心待ちにしているファンも多く、数量限定のため品切れの場合がありますので、お早目にご注文ください。

低塩タイプ ※1

群馬県産オリジナル トマトジュース

パスタやスープ、リゾットなどのお料理の材料としても便利です。

群馬県産完熟トマトを旬にしぼったストレートのトマトジュースです。

限定製造

1ケース・30缶入
(190g×6本×5)

群馬県産トマトを旬にしぼったストレートのトマトジュースです。
熟トマト約3個分 群馬県産トマト100%

お問合せ・ご注文先

ご注文は、お近くのJA またはJA全農ぐんまへ

JA全農ぐんま 米麦特産課

Tel 027-220-2251

※1.「低塩」は、厚生労働省・栄養表示基準により、ナトリウムが120mg/100ml以下と定義されています。(本品は83mg/100ml)

※この夏に収穫された、完熟トマトを使用しています。トマトの生育・収穫状況によっては納品時期が遅れる可能性がありますので、なにとぞご理解のほどお願い致します。

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

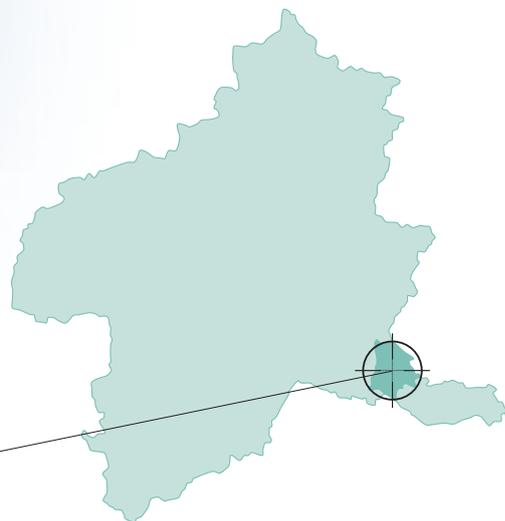
番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
秋の味覚「美味開運! 高崎そだち」/ JAたかさき	※9月7日(日)	AM 8:00~8:30
みんなで食べよう「たまごフェスタ2014」 / 群馬県養鶏協会	9月8日(月)	PM 9:00~9:30
	※9月14日(日)	AM 8:00~8:30



三隅 有里子アナ

農業 チャレンジ

JA太田市



安全・安心・美味しいを届けたい！熱き思いで邁進

JA太田市管内 藤田 哲也 さん



藤田 哲也 (ふじた・てつや)さん
1983年生まれ、31歳。
JA太田市青壮年部所属。

栽培面積：

小玉スイカ…………… 80a
ハウレン草…………… 80a

心機一転 農業の道へ

今回のチャレンジャーは、JA太田市管内で家族と共に小玉スイカとハウレン草の生産を行う藤田さんです。「大学を卒業後は東京で働いており、当時は実家の農業を継ぐ気はありませんでした。しかし、都会での生活を送る中で、自然の中で伸び伸びと行える農業に魅力を感じるようになったのです。ものづくりに興味があったこともあり、恵まれた環境を活かしたいと思い就農を決意しました。それから講習会や研修会に積極的に参加し、知識と技術の習得に励みました。」と話してくれました。

今年で就農6年目。JA太田市青壮年部の一員としても活動しており、イベントへの参加や講習会等を通して、地域や仲間との交流を図っています。

困難を乗り越えて

今の時期（8月末）は、ハウレン草の播種を行っているという聞き、ハウスに案内してもらいました。今年の2月に発生した雪害の影響を伺うと、「ハウスの約半数が倒壊しました。小玉スイカの定植後の出来事だったのですが、倒壊したハウス内で無事だったものも含め、栽培管理を徹底し出

来る限り収穫に繋げようと努力しました。また、定植の方法を変えるなど様々な工夫を凝らすことで、出荷量を前年に比べて2割減に抑えることができました。思いもよらぬ災害でしたが、家族が団結し、その時々々の環境に上手く対応していくことが大切なのだと思えて感じました。」と藤田さん。良品質な農産物の安定生産を再開すべく、一日も早い再建を目指しています。

消費者への思い

藤田さんの農場では、JAの直売所にも小玉スイカを出荷しています。「消費者との距離が近く、顔の見える関係が築かれているので、中途半端なものは作れません。毎年心待ちにしてくださっている方々のためにも安全・安心を基本とし、味に自信をもって提供しています。また、小玉スイカは夏のものと思っている方が多いようなので、直売所に出荷することで、春から味わえることを知って欲しいですね。」と話してくれました。

『美味しかったよ』と声をかけてもらうことが何よりも嬉しいという藤田さん。家族や仲間とともに、地域農業の更なる活性化を目指して前進する姿に、今後の活躍が期待されます。



1 「農業には自然相手の大変さもあるが、肩の力を抜きリラックスして仕事ができるところが魅力」と藤田さん。

2 J Aの担当者と打ち合わせ。互いに協力し合いながら品質の向上を目指す。

3 ハウス内の様子。

4 元気に育つハウレン草。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JAはぐくみ 東部営農センター
アグリサポートこくふ

清水 聖也さん

Profile

しみず・せいや (25歳)

趣味.....釣り・バーベキュー

好きな食べ物.....カレー

嫌いな食べ物.....特になし

●職場の皆さんからみた清水さん

「笑顔が素敵な好青年で、組合員の皆さんからも愛されています。今後も、幅広い知識を身に付け、活躍して欲しいと思います。」

「皆さんのお役に立てるよう 日々努力しています!」

—どうしてJAで働こうと思ったのですか？

実家が農家なので、幼い頃から食と農に興味がありました。その為、身近な存在であったJAへの就職を決めました。

—仕事内容を教えてください。

ここ「アグリサポートこくふ」で、生活資材や営農資材を担当しています。

商品の受発注や配達、来店する組合員の方への営農指導等を行っています。

—現在の業務を担当して何年目ですか？

4年目です。

—1年目と比べてどうですか？

組合員の皆さんと積極的にコミュニケーションをとることで信頼関係が生まれ、頼りにしてもらえるようになりました。

—どんなときにやりがいを感じますか？

自分の提案した商品が、組合員

さんに喜んでもらった時ですね。

新商品にも対応できるよう、知識習得に励んでいます。また、東部営農センターにTACの先輩がいるので、営農指導に関するアドバイスをもらったり、研修に参加させてもらったりしています。

—趣味は釣りとバーベキューとのことですが。

はい。釣りは、県内の湖に足を運び、友人に教えてもらいながらやっています。

バーベキューは、地元の友人が集まり、天気の良い日に庭先で楽しんでいます。

—他にも、やっていることはありますか？

体を動かすことも好きなので、ダイエットも兼ねて週に2~3回スポーツジムに通っています。

また、家でゆっくり映画を見るのも好きです。

—おすすめの映画を教えてください。

「バック・トゥ・ザ・フューチャー PART1」です。最近のものよりは、昔のSF映画が好きですね。

—最後に、今後の意気込みをお聞かせください。

組合員の皆さんがより良いものを作れるよう、サポートしていきたいです。また、後輩ができれば尊敬されるような職員になりたいですね。

清水さん、お忙しい中ありがとうございました。



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は7月25日に6月の牛乳乳製品統計を公表した。6月生乳生産量は61万8,861tで前年同月比3.0%の減となった。北海道は32万4,269t（前年同月比2.6%減）で生産量の全国シェアは52.4%となった。

都府県の生産量は29万4,592tとなり、前年同月比で3.5%減少した。

■販売及び乳製品情勢

6月の用途別処理量は、牛乳等向けが34万5,154t（前年同月比

0.4%減）、乳製品向けが26万8,658t（〃6.4%減）となった。飲用牛乳等生産量は30万2,306kl（〃0.3%増）で前月から1.7ポイント増加し、内牛乳が26万3,065kl（〃0.3%増）、さらに乳飲料は11万6,284kl（〃3.3%減）で前月より1.2ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

（単位：t、%）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
生乳生産量	全国	626,346	572,501	643,041	626,764	650,316	618,861
	群馬(委託実績)	18,314	15,987	19,066	18,815	19,236	17,948
	本会(委託実績)	5,901	5,294	6,256	6,193	6,293	5,833
用途別処理量	飲用牛乳等向け	313,870	302,630	315,910	318,995	342,141	345,154
	乳製品向け	307,918	265,027	322,423	302,703	303,151	268,658
	その他向け	4,558	4,844	4,708	5,066	5,024	5,049
前年対比	生乳生産量(全国)	97.2	96.3	96.8	96.4	96.9	97.0
	〃(群馬)	97.7	91.7	95.8	96.0	96.4	96.3
	〃(本会)	103.1	98.9	102.1	94.4	94.8	94.7
	飲用牛乳等向け	97.9	100.5	98.5	98.4	98.8	99.6
	乳製品向け	96.6	91.8	95.1	94.2	94.7	93.6
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
							3,737,829
							109,365
							35,771
							1,938,700
							1,769,880
							29,249
							96.8
							95.7
							98.0
							99.0
							94.3

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(8月予想) 持合い。行業シーズンに入り下位等級の和牛の動きは活発だが、ギフト需要が一段落し高級部位は高値をうかがいにくい。

肉牛枝肉相場(予想)

和牛去勢A5 2,100円中心
和牛去勢A4 1,850円中心

和牛去勢A3 1,700円中心
和牛去勢A2 1,380円中心
交雑去勢B5 1,790円中心
交雑去勢B4 1,490円中心
交雑去勢B3 1,300円中心
交雑去勢B2 1,250円中心
乳牛去勢B2 850円中心

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計	
和牛去勢A4	25年	1,695	1,750	1,785	1,749	1,829	1,901	1,829	1,832	1,896	1,929	1,999	2,076	1,856
	26年	1,900	1,904	1,902	1,899	1,914	1,893	1,862						1,896
	前年格差	205	154	117	150	85	▲8	33						40
和牛去勢A3	25年	1,585	1,615	1,633	1,627	1,717	1,710	1,664	1,649	1,710	1,780	1,852	1,813	1,696
	26年	1,658	1,693	1,718	1,669	1,664	1,658	1,662						1,675
	前年格差	73	78	85	42	▲53	▲52	▲2						▲22
和牛去勢A2	25年	1,180	1,419	1,479	1,508	1,472	1,522	1,441	1,405	1,521	1,662	1,579	1,583	1,481
	26年	1,371	1,516	1,478	1,516	1,492	1,486	1,455						1,473
	前年格差	191	97	▲1	8	20	▲36	14						▲7

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計
25年	1,000	1,123	1,025	1,236	929	898	1,126	1,098	1,090	1,162	1,584	1,385	13,656
26年	1,132	1,186	1,139	1,291	1,098	1,104	1,262						8,212
前年増減	132	63	114	55	169	206	136						▲5,444

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格(乳去) 260~300kg 501円/kg(前月比103.3%)
- ②F1価格(去勢) 250~300kg 1,076円/kg中心(雌) 250~300kg 991円/kg中心
- ③和牛子牛(去勢) 584千円中心(前月比99%) (雌) 513千円中心(前月比99%)

養豚情勢

枝肉相場関係

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
24年(A)		390	393	388	397	420	479	443	468	425	365	358	418	412
25年(B)		363	390	404	450	499	485	498	507	499	466	477	521	463
26年(C)		458	467	496	553	582	621	580						537
(B-A)		▲27	▲3	16	53	79	6	55	39	74	101	119	103	51
(C-B)		95	77	92	103	83	136	82						73

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間頭数
と畜頭数	25年	45,435	40,085	41,826	42,393	40,315	34,599	40,317	37,843	39,480	47,010	43,823	45,029	498,155
	26年	43,425	39,985	39,852	44,690	39,069	36,628	39,821						283,470
前年比(%)		95.6	99.8	95.3	105.4	96.9	105.9	98.8						56.9

肉豚生産出荷予測（全国）

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	4月	5月	6月	4~6月	7月	8月	9月	7~9月	10月	11月	12月	10~12月	1月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,390	1,315	1,250	3,955	1,339	1,298	1,347	3,984	1,448	1,417	1,470	4,335	1,414
前年同月比(%)		96	93	100	96	98	98	99	98	94	95	95	94	97

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、8月の出荷見込頭数は1,298千頭（前年同月比98%）となっている。その後は9月1,347千頭（99%）、10月1,448千頭（94%）と予想されている。豚肉は弱持合いの見通し。品薄高が続いていた上物価格は7月、高値を警戒して買い控える動きが広がり反落。輸入物での手当ても進んでおり、市場関係者は「盆需要で戻しても値動きは小幅」と見通す。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

14年8月195円(見込み) 111%(前年比)

（単位：円）

価格の推移

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
25年(A)		171	190	175	172	164	155	157	175	211	220	260	280	194
26年(B)		224	240	230	223	204	199	190						216
(B-A)		53	50	55	51	40	44	33	0	0	0	0	0	22
全国基金補填	25年	18,999	0	9,774	15,714	21,645	24.3	24.3	9,306	0	0	0	0	
	26年	0	0	0	0	0	0	2,088						

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：7月の平均単価は190円(前年同月+33円)と前年同月を上回り、平成25年8月～平成26年7月期平均は221円(前年同期比+42円)であった。

■出荷動向：暑さによる需要減を見込んだ生産調整で出荷量が減少する見通し。また、鶏の餌付きが悪いため卵重が低下し、小玉サイズが増加する。

■需要動向：これから盆の行楽需要が動く。盆明けには、大玉サイズを中心に加工業者の買い付けが旺盛になる見込み。

卵価要因

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
加工卵輸入実績(t)	25年	1,838	1,961	1,997	2,283	2,151	1,776	2,084	2,488	1,867	2,201	2,451	2,631	25,728
	26年	3,060	2,845	2,688	2,286	2,314								13,193
前年比(%)		166.5	145.1	134.6	100.2	107.6								51.3
餌付羽数(千羽)	25年	7,215	7,317	7,520	7,742	7,767	7,895	7,200	6,896	8,170	7,346	7,464	7,636	90,168
	26年	7,251	7,569	7,734	7,715	8,291	8,405							46,965
前年比(%)		100.5	103.4	102.8	99.7	106.7	106.5							52.1

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 22年:194円
 (8) 23年:188円
 (9) 24年:181円
 (10) 25年:207円
 (1) 16年:173円
 (2) 17年:204円
 (3) 18年:184円
 (4) 19年:169円
 (5) 20年:193円
 (6) 21年:175円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

7月11日（金）の米国農務省需給見通しによると、旧穀2013/14年度は、供給量は据え置いたものの、需要量は100百万ブッシェル下方修正したため、期末在庫は前月発表から100百万ブッシェル上方修正した。

新穀2014/15年度は、供給量は期首在庫を100百万ブッシェル上方修正する一方で、単収を据え置き、作付面積・収穫面積が下方修正されたことにより生産量を75百万ブッシェル下方修正したため、合計では25百万ブッシェルの上方修正となった。需要量は飼料需要を50百万ブッシェル下方修正となり、期末在庫としては75百万ブッシェル上方修正の1,801百万ブッシェル（在庫率13.51%）となる見通し。

シカゴ定期は、米国中西部の生産地ではシルキング（先端から細長い絹のような毛が出る時期のこと）が始まっており、天候についてもとうもろこしの生育に好ましい状況が続いている。作柄状況も優良率が76%（過去5年平均は64%）と非常に良く、生育に重要な受粉期を良好な状況で迎えており、新穀に対する期待感から9月限は380セント/ブッシェル前後で推移している。

米国産とうもろこしのFOBプレミアムは、シカゴ定期の下落により米国産が引き続き国際競争力を有していることから輸出需要が強くなり、堅調に推移している。

②大豆粕

7月11日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2013/14年度は、供給量は輸入減により5百万ブッシェル減（3,514百万ブッシェル）、需要量が21百万ブッシェルの下方修正（3,374百万ブッシェル）となり、期末在庫は前回発表から15百万ブッシェル上方修正され、140百万ブッシェルとなり、期末在庫率は3.68%から4.15%となった。

2014/15年度産は、供給量は期首在庫の上方修正に加え、単収は据え置かれたものの、作付面積・収穫面積を上方修正したことによって、生産量を165百万ブッシェル上方修正し、合計で180百万ブッシェル（3,955百万ブッシェル）の上方修正となった。需要量は搾油向けに40百万ブッシェル、輸出向けに50百万ブッシェルの上方修正などにより、合計で91百万ブッシェルの上方修正（3,541百万ブッシェル）となり、期末在庫は90百万ブッシェル上方修正され、415百万ブッシェルとなり、期末在庫率は9.42%から11.72%となった。

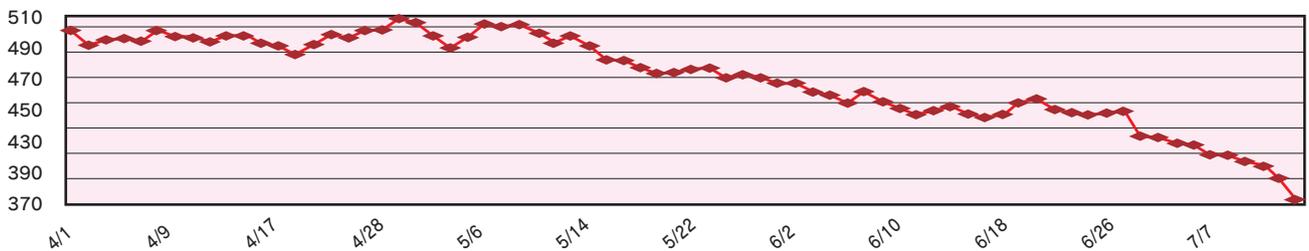
大豆粕のシカゴ定期は、中西部で天候に恵まれ作付けが順調に進むとの見方から、8月限は380セント前後で推移している。

■海上運賃

パナマックスのガルフ/日本運賃は、依然船腹が余っている状況から、例年新穀需要を見据えて上がり始める7月半ばになっても41ドル前後で横ばいとなっている。今後どのタイミングで上昇に転じるかに注目が集まっている。

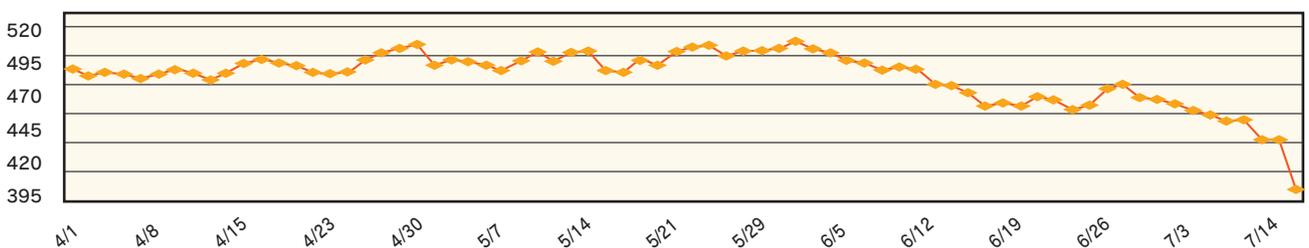
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



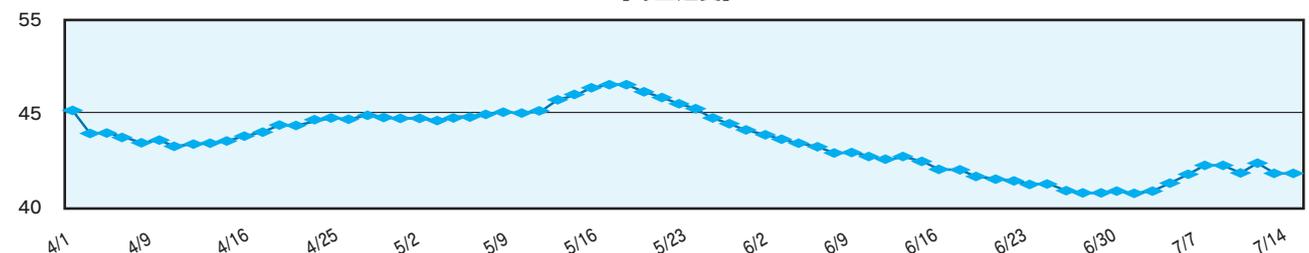
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター-便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

園芸資材館では、秋じゃがいもの種芋やらっきょうの球根の販売を開始しました。また、チューリップ・ヒヤシンス・グラジオラス等の球根も一堂に会しており、満を持して販売される品種や海外で人気の品種等、例年以上の品揃えとなっております。職員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



9月の売出し・イベント案内

開催日	内容
9月6日(土) 10:00~	秋冬野菜定植講習会 (ブロッコリー・キャベツ ・白菜の定植と大根の播種) 【参加費無料・申込み不要】
9月19日(金) ~23日(火)	秋の大園芸祭り
9月20日(土) 9月21日(日) 両日とも 10:00~	ほうれん草栽培講習会 【参加費無料・申込み不要】

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花と緑あふれる広場
か ぼく りゅう うら

花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00~18:00
(節電のため7月~9月毎週火曜日定休)

取扱商品

- 園芸資材館/宮農園芸資材等
- ふらわーらんど/鉢花、花苗等
- JA植木コーナー/緑花木、盆栽等
- エクステージ/外構・造園工事等
- ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等
- 外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等

お問い合わせ先
TEL:027-220-2427 前橋市亀里町1307-1
FAX:027-220-2424

たさいひろば
JA直販

愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00~18:00

取扱商品

- 産直野菜
- 農産加工品
- 店頭精米等

お問い合わせ先
TEL:027-210-7788 前橋市古市町106-1
FAX:027-210-9811

JA全農ぐんま

グッドぐんまの旬の市

1階店舗のご案内
営業時間:毎週木曜日定休 10:00~18:00
土日は群馬県農畜産物のPRイベント、平日は県特産品の販売をしています。

- 電車/東武伊勢崎線「浅草駅」より徒歩3分
- 地下鉄/東京メトロ銀座線「浅草駅」より徒歩3分

お問い合わせ先
〒111-0032 東京都台東区浅草一丁目34番4号
TEL:03-3844-0830 FAX:03-3844-0837



『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》
〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番
「県本部通信」係まで
E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp
※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



コーンブレッド

材 料

4人分 (1人前177cal)

A	強力粉	250g
	ドライイースト	小さじ2
	砂糖	大さじ1.5
	ぬるま湯	160cc
B	塩	小さじ1/2
	オリーブ油	大さじ1.5弱
コーン	130g	
卵液	適量	
マヨネーズ	20g	
パセリみじん	少々	

作り方

- 1 ボウルにAの材料を加えて混ぜる。まとまったらBの材料も加え、混ぜ合わせてから台の上でこねる。
- 2 1の生地を丸め、とじ目を下にしてボウルに入れ、ラップをかけて40℃で25～35分発酵させる。
- 3 2の生地をガス抜きした後2個に分割し、丸める。とじ目を下にして布巾の下に入れ、10分休ませる。
- 4 生地のとじ目を上にし、めん棒を十字にあてる。中心→奥→手前へと動かし、15cm×25cm程の長方形にのばす。(これを2枚作る。)
- 5 4の上からコーンをちらし、生地を手前から巻く。巻き終わりを下にして4等分に切る。
- 6 天板にクッキングシートを敷き、切り口を上にして置く。上から手でおよそ11cm程に広げる。
- 7 ラップをかけ40℃で20～25分発酵させる。
- 8 7に刷毛で卵液を塗り、マヨネーズとコーンをのせる。
- 9 250℃のオーブンで12分～15分焼き、熱いうちにパセリをふり、粗熱をとる。